



池二だより

教育目標

よく考える子 思いやりのある子 元気な子

令和6年2月29日
大田区立池上第二小学校
校長 東田 都美

安心・安全で楽しい学校を皆で創造

～1年間を振り返って～

校長 東田 都美

まもなく二十四節気の啓蟄(冬眠していた虫たちが土から顔を出す目覚めの季節)を迎えます。校長室前の「池二池」には、時を待たず早起きの2匹のガマガエルが姿を見せました。夜には求愛の鳴き声も聞かれ始め、慌てて用務主事に池の水替えを依頼しました。産卵を終えてしまうと、オタマジャクシが蛙になって巣立つ6月頃まで清掃できなくなるからです。新学期の頃、たくさん小さな蛙の子が誕生するのが楽しみです。

さて、それまでの1ヶ月間は、学校にとって、とても大切な締めくくりの時期となります。各学年・学級では、1年間のまとめをしていきます。自らの成長に気付かせ、自信とさらなる意欲をもたせて次のステップへ進むことができるよう取り組んでまいります。保護者や地域の代表の皆様からお寄せいただいた貴重な御意見を生かしながら、教職員とともに今年度の教育活動を振り返り、次年度の教育計画書も作成しております。

また、昨年末12月には「池二小スタンダード」について、4年生以上の全学級で話し合い、よりよい学校創りのために一つ一つの決まりの意味を考え、自分事として捉えていけるよう見直しを実施しました。児童の意見を基に生活指導部で改善案を作成しました。保護者の皆様には「まなびポケット」にアップしますので御意見等ありましたら、担任または副校長までお知らせください。

来年度に向け、コロナ禍の制約がなくなったことを受け、本校の強みである「温かな地域力」を生かした学校経営を再開してまいります。未来社会を担う子供たちにとって、地域は最も身近な実社会であり、児童期

から地域への愛着や貢献心を育成していくことが子供たちの「生きる力」の基礎になると考えています。現状を考慮し、未来を見据えた持続可能なものとなるよう、コミュニティースクールの学校運営委員の皆様や教職員と熟議を重ねて丁寧におすすめしていく所存です。保護者の皆様にも、委員会だよりの発行などにより、情報提供に努めてまいります。



児童集会で実施した「紅白歌合戦」の様子です。オーディションを通過した児童に教員チームも参戦し歌声を披露。全校児童が赤白帽で判定しました。

<お知らせ>

【R5/R6年度 学校運営委員の紹介】

コミュニティースクールの導入により、今までの地域連絡学校協議会から移行し学校運営委員会が発足しました。子供たちのためによりよい学校創りに参画していただきます。下線は新たに委員になられた方です。

- 【有識者】尾形 威 【町会長】三瓶 勝司・川上 清彦・金澤 彰
- 【いけいけ応援隊】蓮沼 勝浩・正木 弘美
- 【民生児童委員】茅野 一美 【青少年委員】横溝 奈美
- 【元PTA会長】山口 学 【PTA会長】岡部 健司
- 【PTA執行部】渡辺 梓・松前 拓也・元栄 利之
- 【図書ボランティア】鶴田まるみ 【読書ボランティア】脇 直子
- 【学校】東田 都美 *当面の間は事務局として副校長が参加します

【学校評価の結果】

保護者の皆様にご回答いただいた学校評価の集計結果を本日、「まなびポケット」保護者機能に配信いたします。御回答を今後の学校運営に生かしてまいります。

【東京都教員の異動】

東京都教育委員会より異動者の公表が3月中に実施され次第、児童及び保護者の皆様にお知らせいたします。なお、本校では離任式を来年度4月に実施いたします。児童が、異動の教職員に手紙を書く時間などを十分に確保するためです。

3月の生活目標

「学校をきれいにしよう」

毎日行う掃除は、「自分たちが活動する場所をすすんできれいにする。」ことを目標にしています。

3月は特に、一年間、自分が使った机や椅子、教室、その他の分担場所をいつもよりきれいにすることを心がけます。身の回りを整え、きれいにすると、気持ちよさや清々しさを味わうことができます。気持ちが整うことは、落ち着いて行動したり、考えたりすることにつながります。次の学年の人に気持ちよく使ってもらえるように、掃除することを指導していきます。(生活指導部)

3月の行事予定

1	金	卒業感謝の会 特別時程(1～5年 14:10・6年 16:00 下校)
2	土	
3	日	
4	月	全校朝会 委員会(最終)講演会
5	火	情報モラル 保護者会(1～3年)5時間授業
6	水	児童集会
7	木	5時間授業 ロング昼休み(136年・5組)
8	金	5時間授業 ロング昼休み(245年)おはなしくレヨン(高)
9	土	土曜授業 補習教室
10	日	
11	月	全校朝会 安全指導
12	火	児童アンケート 5時間授業(3年)
13	水	音楽朝会(13日以降、1年生は4時間授業)
14	木	5時間授業(3年)
15	金	サポートルーム指導終 おはなしくレヨン(低5組)
16	土	
17	日	
18	月	全校朝会
19	火	卒業式予行(5・6年) 4時間授業(1～4年)
20	水	春分の日
21	木	午前授業 給食終
22	金	卒業式(6年)
23	土	
24	日	
25	月	修了式(12:00頃下校)土曜時程
26	火	春季休業日始
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

*3月の避難訓練は予告なしで行います。

「4年生より」～体育の授業を通して～

4年生は1月に野球の投げ方教室と、デフビーチバレーボールの体験会を実施しました。

野球の投げ方教室では、ボールの正しい投げ方を教わりました。いつも何気なく投げているボールも、正しい投げ方を教わると、真っすぐ正確な場所に投げることができるようになりました。

デフビーチバレーボール体験会では、ゲストティーチャーから聴覚に障がいがある方との対話方法や、試合のルールについて話を聞きました。手話や口話、筆談など、様々な方法があることを学びました。

体育では様々なスポーツを体験します。初めは上手にできなくても、継続していくと自分でも驚くほど技術面が向上していることがあります。また、協力して安全に運動するうちに、友達を思いやったり、励ましたりする心も育ちます。中には運動が苦手な児童もいますが、それでも体育に参加し、一生懸命に楽しもうとする姿を見ると、この経験から一つでも多くのことを学び、自分の生涯に活かしていったほしいと感じます。上手にできることにこだわらず、自分自身の心と体の成長のために、体育を楽しんでほしいです。そして、「できた!」「楽しかった!」という子供たちの声や笑顔をたくさん見ることができると嬉しいです。

(4年担任)

「情報モラル講習会」

2月17日(土)に情報モラル講習会がありました。情報モラルに関する意識を高め、適切なネット使用等を推進することを目的として講師の先生にお話をいただきました。

低学年では、スマートフォンやタブレット端末に関するルールやマナーの大切さ、プライバシーを守ることの重要性を学びました。高学年では、ネットリテラシーについて、「ネットいじめ」、インターネット依存などについて学びを深めました。どの学年でも、真剣な表情で話を聞く様子が見られました。

スマートフォンやタブレット端末が普及し、インターネットを利用した情報社会になっています。便利なインターネットですが、使い方によっては大変危険なものになります。インターネットをこれまで以上に安全に活用するために、学校では「SNS池上第二小ルール」掲げています。ご家庭でも「正しく適切なインターネットの利用」についてルールを今一度ご確認ください。

この講習会を機に、今後も情報モラル教育について、学校とご家庭が手を携えながらすすめていきたいと思っております。

(生活指導部)

「6年生を送る会」

2月27日に6年生を送る会を実施しました。今年度は、コロナ禍前の形に戻して、全校が体育館に集まって行いました。

1年生から5年生は、この日に向けて、6年生への感謝の気持ちを伝えたり、一緒に楽しんで思い出を作ったりするために話し合いや練習を重ねました。呼びかけでは、6年生のいいところや思い出について、下級生が6年生に向けて言葉を言う度に、言葉を受け取った6年生は嬉しそうにしていました。5年生は、6年生と対決しました。白熱した勝負になり「6年生に負けずにこれから頑張っていくんだ。」という気持ちが伝わってきました。全校の前で、代表委員会による校旗の引継ぎも行われました。5年生は緊張した表情をし、これから学校のリーダーになるんだという責任感を感じている様子でした。

縦割り班での交流給食も行いました。それぞれの班で、和やかに会食し、6年生は下級生からのプレゼント(カレンダー)ももらいました。

6年生は、5年生に安心して池上第二小学校のリーダーとしてのバトンを渡すことができました。6年生は、一日一日を大切に、残り少ない学校生活を充実したものにしたいと思っております。

(特別活動部)

「5年生より」～「おおたの未来づくり科」に向けて～

令和7年度より大田区独自教科「おおたの未来づくり」が新設教科として導入されます。この教科は、未来を創造するための見方や考え方を働かせ、実社会で活躍する様々な人などと連携して、よりよい未来をつくるための創造的な資質・能力を育成することを目標にした教科です。

今年の5年生は、上記の目標を意識しながら、「ロボットづくり教室」と「わくわく時計教室」を実施しました。どちらも外部からお呼びした専門の先生方に教わり、意欲的に活動し、学びを広げることができました。

「ロボットづくり教室」では、機械や道具を組み立てる段階で、部品の一つ一つの役目を考えながら、実際に組み立てに挑戦しました。作業に集中して取り組み、ものをつくる大切さや難しさを知ることができました。

「わくわく時計教室」では、ウサイン・ボルトが世界新記録を出した時のタイマーに当日来校された企業であるSEIKOと書かれていたことに驚いていました。時計の歴史を学び、10分間で10秒を計る時計を作る活動や腕時計の中の部品をルーペで観察する活動など様々な体験をすることができました。

これからも、ものをつくる楽しさを感じてもらえたら、嬉しいです。

(5年担任)